

海岸漂着物等対策に関する 2024 年度の実施状況について

1 海岸漂着物等の回収・処理

環境省の地域環境保全対策費補助金の海岸漂着物等地域対策推進事業を用いて、市町村等が実施する海岸漂着物等の回収・処理事業に要する費用に対し、補助金^{*}を交付し、円滑な回収・処理を推進した。

※【補助率】通常：7/10、離島振興法に基づき指定された離島（県内では佐久島、篠島、日間賀島）：9/10。また、漁業者等がボランティアにより回収した漂流ごみ及び海底ごみの処理については、定額（上限 1,000 万円、10/10）。

海岸漂着物等地域対策推進事業【資源循環推進課】

他主体（市町村等）の事業も含めて把握

※2024 年度実績は速報値

	全体事業費	補助額	回収対象	回収処理量
2019 年度	36,488 千円	26,578 千円	漂着ごみ＋漂流ごみ	459.5 t
2020 年度	39,218 千円	28,719 千円	漂着ごみ＋漂流ごみ	442.7 t
2021 年度	40,899 千円	30,163 千円	漂着ごみ＋漂流ごみ	497.3 t
2022 年度	40,347 千円	29,277 千円	漂着ごみ＋漂流ごみ	348.4 t
2023 年度	38,821 千円	28,673 千円	漂着ごみ＋漂流ごみ	438.4 t
2024 年度	43,492 千円	32,039 千円	漂着ごみ＋漂流ごみ	366.4 t

<参考> 災害等による海岸漂着物等の回収状況

1 災害等廃棄物等処理事業費補助金【資源循環推進課】

他主体（市町村等）の事業も含めて把握

2019 年度～2023 年度：実績なし

2-1 災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業【河川課】

県事業のみ把握

	全体事業費	補助額	回収対象	回収処理量
2019 年度	実績なし			
2020 年度	実績なし			
2021 年度	実績なし			
2022 年度	284,950 千円	142,475 千円	漂着ごみ	6,064 m ³
2023 年度	実績なし			

2-2 災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業【農地計画課】

県事業のみ把握

2019 年度～2023 年度：実績なし

2-3 災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業【港湾課】

他主体（市町村等）の事業も含めて把握

	全体事業費	補助額	回収対象	回収処理量
2019年度	実績なし			
2020年度	実績なし			
2021年度	実績なし			
2022年度	170,055千円	85,027千円	漂着ごみ	4,481 m ³ (流木) 13t(廃プラ)
2023年度	実績なし			

3 水産多面的機能発揮対策事業【水産課】

県事業のみ把握

2019年度～2023年度：実績なし

4 流木等処理負担金【河川課】

他主体（市町村等）の事業も含めて把握

	全体事業費	補助額	回収対象	回収処理量
2019年度	3,878千円	1,939千円	漂着ごみ	186m ³
2020年度	15,073千円	7,537千円	漂着ごみ	742m ³
2021年度	25,567千円	12,784千円	漂着ごみ	924.9m ³
2022年度	実績なし			
2023年度	13,080千円	6,540千円	漂着ごみ	760 m ³

2 発生抑制に関する取組

(1) 市町村が実施する発生抑制対策事業への補助

環境省の地域環境保全対策費補助金の海岸漂着物等地域対策推進事業を用いて、西尾市が大学生と連携し、佐久島の海岸漂着ごみをテーマにアート作品を制作し展示を行った事業に要する費用に対し、補助金を交付し、発生抑制対策を推進した。

(2) 海洋ごみバスツアーの開催【資料1-2】

名古屋港ポートビル展望室から海とまちのつながりを感じた後、藤前干潟で漂着物を収集し観察するビーチコーミングやビンゴゲーム、マイクロプラスチック分析などを体験することで、海洋ごみ問題が内陸に住む人にも密接に関係していることについて楽しく学べる「海洋ごみを楽しく学ぼう！バスツアー」を開催した。

ア 日時

9月21日（土）午前9時20分から午後3時30分まで

イ 対象

県内在住の小中学生とその保護者 ※小学生は3年生以上に限る。

ウ 参加者数

38人（大人16人、子ども22人）

エ ツアー概要

行き先	体験内容
名古屋港ポートビル	<program. 01> 展望室から海とまちのつながりを感じてみよう！
藤前干潟	<program. 02> ビーチコーミングで海洋ごみを探そう！ <program. 03> 海洋ごみビンゴゲームで楽しく学ぼう！ <program. 04> 選べるプログラム：A マイクロプラスチックを万華鏡に変身させよう！ 選べるプログラム：B マイクロプラスチックを調べてみよう！



名古屋港ポートビル



program. 01

展望室から海とまちのつながりを感じてみよう！



program. 02

ビーチコーミングで海洋ごみを探そう！



program. 03

海洋ごみビンゴゲームで楽しく学ぼう！



program. 04-選べるプログラム：A
マイクロプラスチックを万華鏡に変身させよう！



program. 04-選べるプログラム：B
マイクロプラスチックを調べてみよう！

(3) モデル授業の実施

2016 年度に県が作成した海岸漂着物発生抑制対策のための室内版環境学習プログラム「カップの清吉と海ごみのルーツを探ろう」を活用するとともに、NPO 法人環境ボランティアサークル亀の子隊の鈴木代表を講師にお招きしたモデル授業を内陸に所在する県内小学校（2校）で実施した。

なお、モデル授業の様子や環境学習プログラムの教材は Web で公開している。
(<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/index.html>)



モデル授業の状況



蒲郡市立蒲郡北部小学校
2024年10月18日（金）
4年生2クラス対象



岡崎市立秦梨小学校
2025年2月6日（木）
4年生～6年生合同授業

(4) 海ごみゼロウィークへの参加

「海ごみゼロウィーク」にあわせ、海ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動の実施を呼び掛けた。

本県では県庁の庁舎周辺の清掃活動を行いこの取組へ参加、県内41市町村でも清掃活動を実施した。



県庁（庁舎）周辺の清掃活動の様子
2024年5月30日（木）

(5) 啓発資材の貸出 【資料1-3】

刈谷市や豊田市環境学習施設「eco-T (エコット)」が実施した講演会や特別展に啓発資材を貸し出した。

(6) 出前講座の実施

地域環境保全委員や水資源機構愛知用水総合管理所職員に対し、海洋ごみ対策に関する講演を実施した。

(7) 研修会の開催

ごみゼロ社会推進あいち県民会議主催で海洋ごみをテーマとした研修会を開催した。

ア 開催日

2024年7月5日(金)

イ 場所

愛知県環境調査センター 第一会議室(オンライン併用)

ウ テーマ

「海のない市町村から海を守る～内陸から発生する海洋ごみ～」

エ 講師

四日市大学環境情報学部 特任教授 千葉 賢 氏

オ 参加者数

ごみゼロ社会推進あいち県民会議会員(市町村、一部事務組合、民間団体等)
52人

(8) 環境イベント等へのブースの出展

環境学習プログラムの体験などを通じ、海洋ごみについて知ってもらうため、SDGs AICHI EXPO 2024に出展したごみゼロ社会推進あいち県民会議ブースにおいて、普及啓発活動を実施した。

ブースでは、環境学習プログラム(カードゲーム)体験の実施、啓発パネルや海ごみの実物サンプル等を展示した。

ブース出展の状況



2024年10月10日(木)～12日(土)
(Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場))

3 漂着ごみ組成調査の実施 【資料1-4】

海岸漂着ごみの組成及び量並びにこれらの経年変化を把握し、漂着ごみの実態把握及び今後の漂着ごみ発生抑制対策を効果的に実施するため、伊勢湾、三河湾及び遠州灘の海岸各1地点において、2020年度から漂着ごみの組成調査を継続実施した。

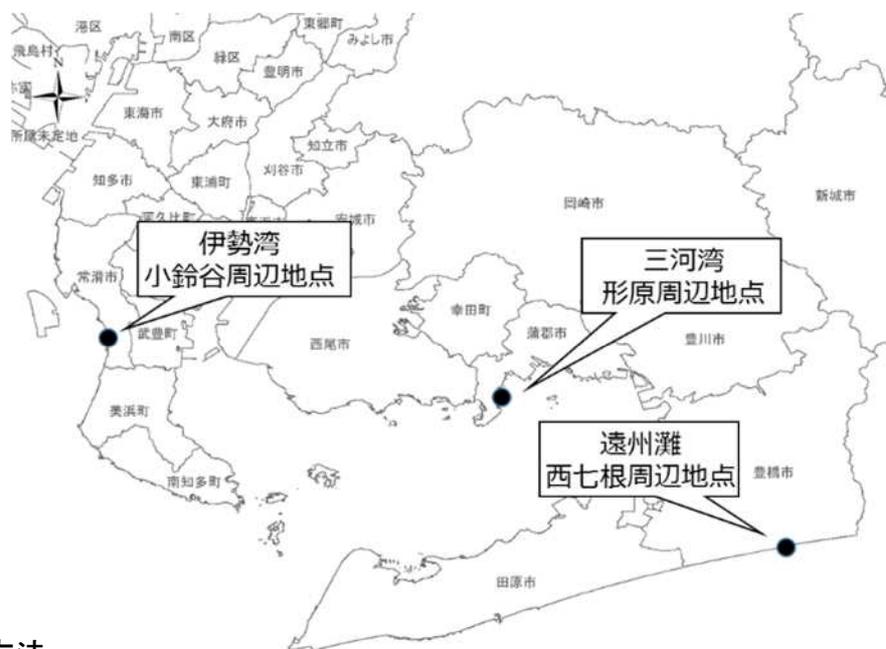
なお、調査結果はWeb上で公開している。

(<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/composition.html>)



(1) 調査地点（調査実施日）

- ① 伊勢湾 小鈴谷周辺（2024年12月12、13日）
- ② 三河湾 形原周辺（2024年12月24日）
- ③ 遠州灘 西七根周辺（2024年12月23日）



(2) 調査方法

「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」（環境省）に準ずる。

(3) 調査結果

調査結果（2分類別組成比（重量ベース））

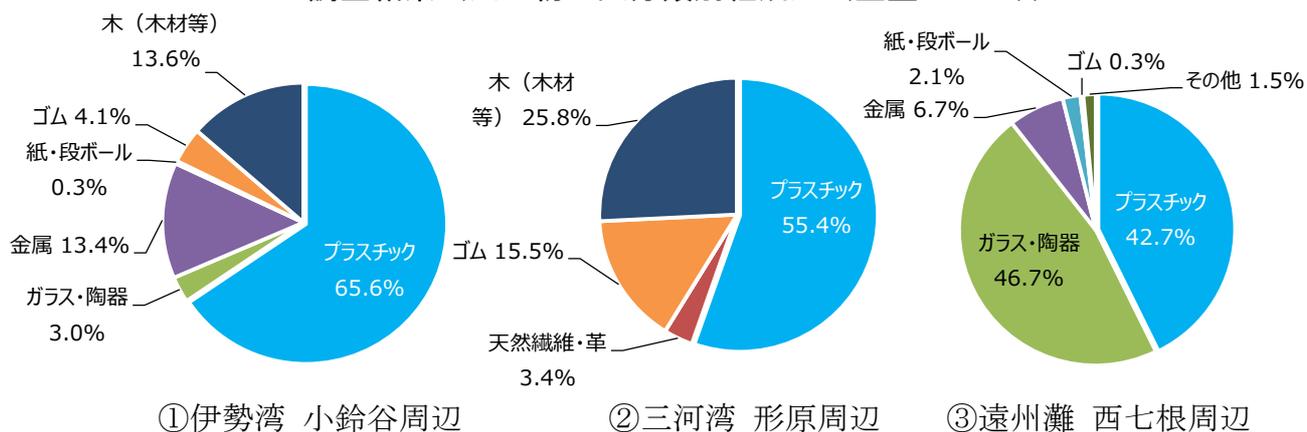


①伊勢湾 小鈴谷周辺

②三河湾 形原周辺

③遠州灘 西七根周辺

調査結果（人工物の大分類別組成比（重量ベース））



4 岐阜県、三重県及び名古屋市との連携事業の実施

（1）伊勢湾流域圏の一斉清掃 【資料1-5】

三県一市が連携し、令和6年9月20日～11月30日を一斉清掃の期間として、県民や民間団体等に対して自主的な清掃活動の実施や清掃イベントの参加について呼びかけた。

(https://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/we_can_do.html)



（2）清掃団体との連携・情報発信

既存の団体が実施する清掃イベントにおいて、三県一市が連携し、参加者に対して、伊勢湾の海洋ごみ問題の現状や広域連携の取組等について発信した。また、回収したごみの種類等を参加者と協力して確認することを通じて、海洋ごみの発生場所・発生原因について考える機会をつくった。

連携した清掃イベント	参加人数
「川と海のクリーン大作戦」長良川一斉清掃	約2,000人
24秋の藤前干潟クリーン大作戦	1,987人
答志島奈佐の浜海岸清掃	230人
合計	4,217人



連携した清掃イベントの様子（左から、岐阜、愛知、三重）

（3）伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画冊子の作成

昨年度策定した「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」の冊子を作成し、市町村等に配布した。

5 プラスチックごみ削減啓発事業「オンライン謎解きイベント」 【資料1-6】

県民の皆様にはプラスチックごみ問題について楽しく学んでいただくため、コミュニケーションアプリ「LINE」上で挑戦できるオンライン謎解きイベント「謎解き未来通信！～プラごみから未来のあいちを救い出せ～」を開催した。

(1) 謎解きプログラムの概要

プラスチックごみなどで汚れた未来の海を救うため、未来に住む少女「ミウ」と共に謎を解きながら、きれいな海を取り戻すストーリーで、コミュニケーションアプリ「LINE」上で挑戦できる無料オンライン謎解きイベント。

(2) イベント期間

2024年9月1日（日）から2025年1月31日（金）まで

(3) 参加方法

「LINE」で参加

URL <https://lin.ee/bd1DP3r>



(4) 参加者

1,905人